

2020年度神戸大学後期日程 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

小論文（文学部）

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。
なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、2020年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

人文学系の長文を限られた時間内に読み解き、考え、そして表現する能力を問うことをねらいとしている。

問一 思考の内発性・能動性という「常識」が実は錯覚であるという主張について、本文にある筆者の考えを読み取り、整理することを求めている。基礎的な読解力を問う問題である。

問二 この文章において筆者が「エス」と位置付けている概念の説明を求めている。フロイトが提唱した元来の「エス」とは相当に異なる概念であるため、筆者の考えを理解し、文章全体の主旨を踏まえて論理的に構成する必要がある。やや高度な読解力を問う問題である。

問三 「思考の主体は『私』ではない」という筆者の主張をもとに、では「私」の役割・意義はどこにあるのかを考えさせる問題である。筆者自身の結論も文章中に書かれているため、それを踏まえつつ、自らの主張を組み立てることを求める。読解力・発想力・構成力・表現力を問う総合的な問題である。